

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年1月14日

【四半期会計期間】 第71期第3四半期(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

【会社名】 株式会社アダストリア

【英訳名】 Adastria Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 福田三千男

【本店の所在の場所】 茨城県水戸市泉町3丁目1番27号

【電話番号】 (029)231-1101

【事務連絡者氏名】 経理部長 林 暁 仁

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷2丁目21番1号 渋谷ヒカリエ (東京本部)

【電話番号】 (03)5466-2010 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 林 暁 仁

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第3四半期 連結累計期間	第71期 第3四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (百万円)	164,280	132,833	222,376
経常利益 (百万円)	11,871	3,116	12,843
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	6,908	1,228	6,363
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	6,951	939	6,646
純資産額 (百万円)	57,347	54,105	57,041
総資産額 (百万円)	99,913	102,204	97,924
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	146.67	26.13	135.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.4	52.9	58.3

回次	第70期 第3四半期 連結会計期間	第71期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	53.01	78.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は「株式付与E S O P信託」及び「役員報酬B I P信託」を導入しております。株主資本において自己株式として計上している信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

関係会社の異動は、以下のとおりであります。

2020年11月2日付で新たに設立した株式会社AD00RLINKを連結子会社としております。

なお、2020年11月13日付で方針(上海)商貿有限公司は你可安(上海)商貿有限公司に商号変更しております。

また、2020年12月16日開催の取締役会において、韓国における店舗運営業務を担っているAdastria Korea Co.,Ltd.を清算することを決議しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績

##### 連結業績

	2020年2月期 第3四半期 連結累計期間 (2019年3月1日から 2019年11月30日まで)	2021年2月期 第3四半期 連結累計期間 (2020年3月1日から 2020年11月30日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	164,280	132,833	31,447	19.1%
営業利益 (百万円)	11,970	1,108	10,862	90.7%
経常利益 (百万円)	11,871	3,116	8,754	73.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	6,908	1,228	5,679	82.2%

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,328億33百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益が11億8百万円（前年同期比90.7%減）、経常利益が31億16百万円（前年同期比73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が12億28百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

国内売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛の動き、及び商業施設の休業や営業時間の短縮等により来店客数が大幅に減少した結果、前年同期比19.0%の減収となりました。4月下旬から約2週間国内実店舗の全てが休業し、その後緊急事態宣言の解除に伴い地域毎に順次営業を再開いたしました。外出需要減少の影響が続いたものの、月を追う毎に国内実店舗の売上高は改善し、気温の低下や外出需要の回復に伴い、第3四半期には大きく持ち直しました。しかしながら、感染再拡大の懸念が高まった11月下旬には再度来店客数が減少する流れもみられる等、個人消費の動向は不透明な状況となりました。

一方、EC販売は、前年8月8日以降に自社EC「ドットエスティ」が休止していた反動もありましたが、外出自粛の動きに対応し自社ECへの集客の取組みを強化したことに加え、EC専門ブランドを運営する子会社BUZZWIT社が堅調を維持した結果、前年同期比23.8%増と大幅に伸ばいたしました。

海外売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により香港、韓国、米国は減収となりましたが、影響の少なかった台湾はほぼ前年並みで推移し、ニコアンド上海旗艦店が堅調な中国は増収となりました。

店舗展開につきましては、82店舗の出店（内、海外6店舗）、32店舗の退店（内、海外8店舗）の結果、当第3四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、1,442店舗（内、海外75店舗）となりました。

収益面につきましては、上記の市場環境の下、「適時・適価・適量」の商品提供による値引き販売の抑制を推し進めたものの、春物商品の在庫消化促進の影響により、売上総利益率は55.7%（前年同期比1.4ポイント減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、店舗の休業や営業時間の短縮等に伴う人件費及び店舗家賃の減少に加え、カード手数料の減少、販促費用の抑制や、出張の自粛やイベント中止等によるその他経費の削減に努めた結果、前年同期比で89億93百万円減少しました。しかしながら、大幅な減収の結果、販管費率は54.8%（前年同期比5.0ポイント増）となり、営業利益率は0.8%（前年同期比6.5ポイント減）となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業に対する雇用調整助成金16億58百万円を営業外収益に計上いたしました。

特別損益につきましては、店舗等の減損損失2億26百万円、韓国子会社（Adastria Korea Co.,Ltd.）の清算に伴う損失見込みとして事業整理損失引当金繰入額1億33百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、42億79百万円増加して1,022億4百万円となりました。これは主に、現金及び預金が72億40百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が58億15百万円、たな卸資産が39億22百万円、無形固定資産のその他（ソフトウェアなど）が10億94百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、72億15百万円増加して480億99百万円となりました。これは主に、電子記録債務が18億23百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が40億29百万円、未払金が40億6百万円、未払法人税等が12億72百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、29億36百万円減少して541億5百万円となりました。これは主に、自己株式が19億69百万円増加（純資産は減少）、利益剰余金が6億77百万円減少したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	48,800,000	48,800,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	48,800,000	48,800,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

(ライツプランの内容)

該当事項はありません。

(その他の新株予約権等の状況)

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日		48,800,000		2,660		2,517

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,145,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,482,200	474,822	
単元未満株式	普通株式 172,600		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	48,800,000		
総株主の議決権		474,822	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が700株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。  
2. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、「株式付与E S O P信託」及び「役員報酬B I P信託」の信託財産として保有する当社普通株式493,400株(議決権の数4,934個)が含まれております。

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アダストリア	茨城県水戸市泉町 3丁目1番27号	1,145,200		1,145,200	2.35
計		1,145,200		1,145,200	2.35

- (注) 1. 上記以外に自己名義所有の単元未満株式84株を保有しております。  
2. 「株式付与E S O P信託」及び「役員報酬B I P信託」の信託財産として保有する当社株式は、上記の自己株式等には含めておりません。  
3. 直前の基準日(2020年8月31日)の後、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、1,162,700株の自己株式を取得したことにより、当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は、単元未満株式の買取及び買増を含めて2,308,354株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,462	19,222
受取手形及び売掛金	9,954	15,770
たな卸資産	15,008	18,931
その他	1,877	1,743
貸倒引当金	68	113
流動資産合計	53,234	55,554
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	5,349	5,285
その他(純額)	9,915	10,665
有形固定資産合計	15,265	15,950
無形固定資産		
のれん	478	355
その他	5,799	6,894
無形固定資産合計	6,278	7,250
投資その他の資産		
投資有価証券	242	257
敷金及び保証金	15,959	15,498
その他	7,212	8,003
貸倒引当金	268	310
投資その他の資産合計	23,146	23,449
固定資産合計	44,689	46,650
資産合計	97,924	102,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,900	11,929
電子記録債務	9,020	7,197
未払金	11,500	15,506
未払法人税等	3,130	4,403
賞与引当金	2,188	1,159
ポイント引当金	1,937	1,419
事業整理損失引当金	-	132
その他の引当金	279	428
その他	1,505	2,069
流動負債合計	37,462	44,246
固定負債		
引当金	396	304
その他	3,024	3,548
固定負債合計	3,421	3,852
負債合計	40,883	48,099



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	7,213	7,213
利益剰余金	51,079	50,402
自己株式	4,372	6,342
株主資本合計	56,580	53,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	2
繰延ヘッジ損益	6	28
為替換算調整勘定	454	202
その他の包括利益累計額合計	461	172
純資産合計	57,041	54,105
負債純資産合計	97,924	102,204

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	164,280	132,833
売上原価	70,475	58,883
売上総利益	93,805	73,949
販売費及び一般管理費	81,834	72,841
営業利益	11,970	1,108
営業外収益		
受取配当金	13	2
デリバティブ評価益	29	-
雇用調整助成金	-	1,658
その他	293	587
営業外収益合計	336	2,247
営業外費用		
支払利息	89	104
為替差損	308	-
デリバティブ評価損	-	81
その他	38	52
営業外費用合計	435	238
経常利益	11,871	3,116
特別損失		
減損損失	1,584	226
災害による損失	23	-
投資有価証券売却損	75	-
事業整理損失引当金繰入額	-	133
特別損失合計	1,684	360
税金等調整前四半期純利益	10,187	2,756
法人税、住民税及び事業税	3,933	1,363
法人税等調整額	655	163
法人税等合計	3,278	1,527
四半期純利益	6,908	1,228
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,908	1,228

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	6,908	1,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	2
繰延ヘッジ損益	27	34
為替換算調整勘定	6	252
その他の包括利益合計	43	289
四半期包括利益	6,951	939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,951	939
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、新たに設立した株式会社ADOORLINKを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

第2四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	5,249百万円	5,137百万円
のれんの償却額	127百万円	118百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月4日 取締役会	普通株式	1,427	30	2019年2月28日	2019年5月9日	利益剰余金
2019年9月30日 取締役会	普通株式	1,191	25	2019年8月31日	2019年10月21日	利益剰余金

(注) 1. 2019年4月4日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金15百万円が含まれております。

2. 2019年9月30日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金13百万円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月3日 取締役会	普通株式	1,191	25	2020年2月29日	2020年5月11日	利益剰余金
2020年9月30日 取締役会	普通株式	714	15	2020年8月31日	2020年10月21日	利益剰余金

(注) 1. 2020年4月3日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金13百万円が含まれております。

2. 2020年9月30日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金7百万円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,162千株の取得を行いました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が19億69百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が63億42百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益	146円67銭	26円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,908	1,228
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	6,908	1,228
普通株式の期中平均株式数(千株)	47,102	47,030

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間515千株、当第3四半期連結累計期間504千株であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、会社法第459条第1項及び当社定款第38条の規定に基づく自己株式取得について、下記のとおり実施いたしました。

なお、下記の取得をもちまして2020年10月15日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

1. 2020年12月1日以降に取得した自己株式の内容

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| (1) 取得株式の種類 | 当社普通株式                           |
| (2) 取得期間    | 2020年12月1日から2020年12月25日まで(約定ベース) |
| (3) 取得株式数   | 837,300株                         |
| (4) 取得総額    | 1,574,168,400円                   |
| (5) 取得方法    | 東京証券取引所における市場買付                  |

2. 2020年10月15日開催の取締役会における決議事項

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式  |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 2,000,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合4.24%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 40億円(上限)  |
| (4) 取得期間       | 2020年10月16日から2021年2月26日まで                       |
| (5) 取得の方法      | 東京証券取引所における市場買付                                 |

3. 上記取締役会決議に基づき2020年12月25日までに取得した自己株式の累計

- |                |                |
|----------------|----------------|
| (1) 取得した株式の総数  | 2,000,000株     |
| (2) 株式の取得価額の総額 | 3,671,460,500円 |

## 2 【その他】

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間終了後四半期報告書提出日までの間の配当については、  
「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (株主資本等関係)」に記載のとおりであります。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月8日

株式会社アダストリア  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂 本 一 朗 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 菊 池 寛 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アダストリアの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アダストリア及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。